

1. 授業の概要 本講義の目的は 2 つである。1 つは法学の基本的知識の習得である。そして、いま 1 つは、社会で起きている様々な事象・問題を主体的に考えることを習慣化することである。本講義では、前者もさることながら、後者に力点をおく。社会で実際起こっている課題を現実に即していかに克服するかを考えいくことは、教育現場で生じている多様な問題に対処する訓練にもつながるはずである。

本講義では、教育現場で生じている法律学上の問題を取り上げ検討する授業のスケジュールは、以上の通りであった。

第 01 回 ガイダンス

第 02 回 教育現場と憲法①憲法と社会の関わりについて

第 03 回 教育現場と憲法②校則と人権

第 04 回 教育現場と憲法③君が代と思想・良心の自由

第 05 回 教育現場と憲法④学校と信教の自由について

第 06 回 教育現場と憲法⑤教科書裁判

第 07 回 教育現場と憲法⑥教育を受ける権利と国際人権

第 08 回 教育現場と民法①民法と社会の関わりについて

第 09 回 教育現場と民法②いじめと民事責任について

第 10 回 教育現場と民法③体罰と民事責任について

第 11 回 教育現場と刑法①刑法と社会の関わりについて

第 12 回 教育現場と刑法②犯罪の成立要件について

第 13 回 教育現場と刑法③体罰と刑事責任について

第 14 回 教育現場と刑法④いじめと刑事責任について

第 15 回 まとめ

2. 授業評価の方法 成績はレポート試験による。場合によっては出席点およびディスカ

ッションに対する貢献も考慮する。評価割合：レポート試験 90%、授業に対する貢献 10%。尚、本年度は課題を提示し、私が添削させていただき、可能な限り受講生と双方向の授業を行った。

3. 授業アンケートの結果

○普段見読み慣れない判例の読解に苦勞しましたが勉強になりました。

○今回は遠隔と対面授業でしたが、自分なりに課題に取り組むということができました。

○君が代の事案についてはかなり興味深く、自分なり考えて、文章にまとめることができました。

○文章の行間を読むということについてとくに学べた。

○毎回の先生による課題の添削やコメントは非常に勉強になりました。

○先生の解説でだいぶ理解できるようになり、読み方を教えてもらえてよかったと思う。

○毎回、詳細なコメント、フィードバックが良かったです。また、非同期遠隔だったので、助かりました。

4 コメント

○今回もコロナのなかでの講義でしたが、皆様の熱心な取り組みに助けられました。本講義では、読む・書くということに主眼を置きましたが、皆さんの能力の伸び方に驚かされました。来年度も上記のコメントを踏まえて、授業改善に努めて参ります。